

2019年度隠岐ユネスコ世界ジオパーク 学術研究発表会



日時：①島前：2020年3月14日（土）13:30～16:40
②島後：2020年3月15日（日）9:00～14:30

会場：①島前：至誠館（西ノ島町別府56）
②島後：隠岐島文化会館 2F集会室（隠岐の島町西町吉田の二2）

入場無料、出入り自由ですので、
ご都合の良い時間帯にお越しください。

発表演目は裏面に記載しています。→

【主催・お問合せ】隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会

TEL: 08512-3-1321

島前会場（西ノ島町：至誠館）

13:30～

隠岐諸島の維管束植物目録の作成

須貝 杏子（島根大学）

環境DNAを用いた隠岐諸島の固有種・希少種・外来種の分布現状の解明

高原 輝彦（島根大学）

隠岐島後産マントル捕獲岩から解読する日本海形成過程

市山 祐司（千葉大学）

隠岐島前カルデラの形成史：陥没から隆起まで

後藤 芳彦（室蘭工業大学）

西ノ島町教育委員会が保管する「木村コレクション隠岐産動物標本」調査のうち、未完となっていた貝類目録の作製

加藤 琢矛（創造教育センター麻布科学実験教室）

会場によって、発表項目が異なりますので、ご確認の上お越しく下さい。

島後会場（隠岐島文化会館）

9:00～

日本海周辺のゼノリスおよび母岩の火山岩の地球化学的検討に基づく地殻－マントル構造の解明－特にマントル成分の同位体組織の多様性－

相澤 正隆（琉球大学）

隠岐島後産マントル捕獲岩から解読する日本海形成過程

市山 祐司（千葉大学）

隠岐島前カルデラの形成史：陥没から隆起まで

後藤 芳彦（室蘭工業大学）

隠岐諸島におけるミズナラ林の樹種構成と成林条件

立花 寛奈（島根大学）

隠岐諸島固有の陸産貝類の分類学的再検討および起源についての研究

上島 励（東京大学）

西ノ島町教育委員会が保管する「木村コレクション隠岐産動物標本」調査のうち、未完となっていた貝類目録の作製

加藤 琢矛（創造教育センター麻布科学実験教室）

13:00～

全隠岐史の解明：地史の復元から地球ダイナミクスへの発展を目指した岩石学および層序学の総合研究

(1) 隠岐片麻岩の年代

吉田 宏（島根大学）

(2) 隠岐島後の変花崗岩～隠岐と飛騨は地質学的につながっているのか～

藤原 まい（島根大学）

(3) 隠岐島後，久見層の放散虫化石

宮本 広富美（島根大学）

(4) 隠岐島後かんらん岩捕獲岩の化学組成と微細構造解析

岡 喜一（島根大学）